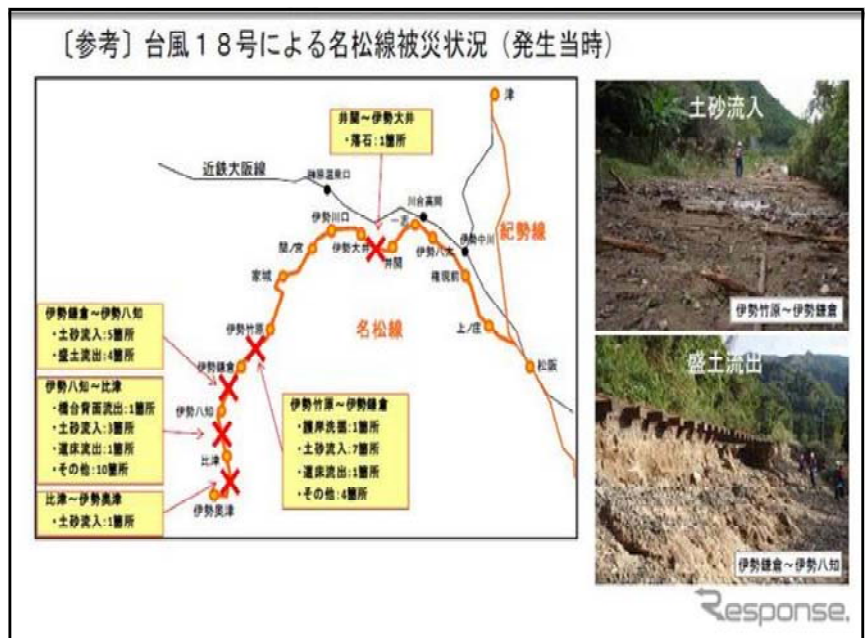


JR名松線、不通区間復旧へ

2009年10月、台風10号による土砂崩れによりJR名松線、家城駅～伊勢奥津駅間（17.7キロ）が不通となっていました。5月15日JR東海会社は5月末から復旧工事を始めると記者会見で明らかにしました。

その費用については、三重県と津市が約10億円をかけ線路周辺の治山事業と水路整備、JR東海が4.5億円をかけ土砂撤去、盛土復旧、線路・電気設備の復旧を行うことになっています。



復旧はJR東海会社の社会的使命

被災当時、JR東海会社は家城駅から伊勢奥津駅間は「復旧しても今後も大きな被害が出る恐れがあり、鉄道による安全で安定的な輸送が出来ない」として廃止するとしていましたが、地元の津市美杉の住民からも地域住民の生活の足、地域活性化に欠かせない交通機関であるとして存続を強く求められていました。

JR東海労も何度か地元自治体へ訪問し、要望を聞きJR東海会社に鉄道会社の社会的使命として名松線の全線復旧再開を求めてきました。

今回、県・市・JR東海と協議がまとまり運転再開に向けて復旧工事を行うことになりましたが、本来ならJR東海会社がすべて責任を持って早期の復旧工事をするべきではないでしょうか？

今後の課題として、安全対策、列車運行本数、乗務員の見習い訓練と方法等について明らかにすることです。

JR東海が10日、今月末から不通区間の復旧工事に着手すると発表したJR名松線

沿線住民ら歓迎

「再開見通しうれしい」

JR東海が10日、今月末から不通区間の復旧工事に着手すると発表した。JR名松線（松阪～伊勢奥津間）の復旧工事に着手すると発表されたJR東海は、沿線住民らから歓迎の声が挙がった。

名松線は09年秋の台風18号による土砂災害で、山間部にある家城～伊勢奥津間が不通となった。沿線住民らは、復旧工事が再開されることを歓迎し、沿線住民らから歓迎の声が挙がった。

津市の前市長は「復旧工事は、沿線住民らから歓迎の声が挙がった。沿線住民らから歓迎の声が挙がった。」

津市の前市長は「復旧工事は、沿線住民らから歓迎の声が挙がった。沿線住民らから歓迎の声が挙がった。」

津市の前市長は「復旧工事は、沿線住民らから歓迎の声が挙がった。沿線住民らから歓迎の声が挙がった。」